



東日本大震災による津波で甚大な被害を受けた蒲生地区は、江戸時代から御舟入堀（貞山堀）を活用した物流拠点「蒲生御蔵」として栄え、また、「蒲生干潟」・「日和山」という豊かな自然と共存してきた地域です。震災後、この地域では、復興に向けて震災の記憶を継承する地域モニュメント「なかの伝承の丘」が整備され、災害危険区域として人が住めなくなった地域の跡地利活用事業により「杜の都バイオマス発電所」を始めとした様々な事業者が操業を開始しています。また「蒲生干潟」が震災前の生態系を徐々に取り戻しつつあるとともに、「日和山」も再び日本一低い山として広く知られる等、着実に未来に向けた歩みを進めています。

宮城野区では、復興の過程で大きく様変わりしたこの地域について、小学生を始めとした若い世代に巡っていただくための学習コースとして魅力的なスポットを紹介いたします。震災を契機としてこの地域に建設された新エネルギーの役割や、震災前後で変容した地域の状況、地域固有の自然の魅力など、様々な面から興味を掘り下げて学びを深めてもらうことを通じて、震災の記憶と復興の歩みの継承、ひいては沿岸部の賑わいづくりに繋げていくことを目的としています。

社会科や理科、総合的な学習の時間における校外学習で他の見学施設と併せて巡っていただくなど、学校教育の一環として是非ご活用ください。



【写真：蒲生地区沿岸部】

本資料に関するお問い合わせ先

担当：宮城野区まちづくり推進部地域力推進担当

電話：022-291-2111

## 目次

### P1 . . . 1. 海辺の学習コースの対象スポット

- P1 「杜の都バイオマス発電所」の見学について
- P3 「蒲生なかの郷愁館」の見学について
- P7 地域モニュメント「なかの伝承の丘」の見学について
- P8 「蒲生干潟」・「日和山」の見学について

### P9 . . . 2. 海辺の学習コースの校外学習コース（一例）

- P9 産業学習コース
- P11 環境学習コース
- P13 海辺の学習コース

### P15 . . . 3. 海辺の学習コースのマップ


### P16 . . . 4. 海辺の学習コースにおける小学校学習指導要領の関連項目一覧（再掲）



【写真：なかの伝承の丘】

## ■「杜の都バイオマス発電所」の見学について

仙台市内で発電所を見学できるのはここだけ！  
「最新のバイオマス発電」を6年生の理科の学習に！

見学時間	40分～80分	
所在地	仙台市宮城野区蒲生4丁目1番地の1	
概要	<p>合同会社杜の都バイオマスエナジー(防災集団移転跡地の利活用事業者)が建設した新エネルギーの発電所で、令和5年11月から本格稼働しています。海外から輸入した木質ペレットやパーム椰子殻を燃料として燃やし、高温高压の蒸気を作りタービン発電機を回して発電を行い、年間で約17万世帯分の電気を作り出しています。</p> <p>発電所内には、展示室「蒲生なかの郷愁館」が令和6年3月に開館し、蒲生地区の歴史・自然・震災や、持続可能な電気エネルギーについて学ぶことができます。</p> <p>また、沿岸部に立地しているため、発電所は東日本大震災時と同等の津波が発生した場合に備えた造りとなっており、津波避難施設としても機能します。</p>	
学習指導要領の関連項目	<p>▶理科 第6学年 ・ A物質とエネルギー (1)燃焼の仕組み (4)電気の利用</p>	
写真	<p>発電所全景</p> 	<p>発電所近景</p> 
予約	見学にあたり、予約が必要です。	
駐車場	事前に調整のうえ、敷地内に大型バス2台が駐車可能です。なお、一般見学者用の駐車場は無いため、個人で見学する際は近隣の駐車場をご利用ください。	
その他	<p>▶見学内容は、スライド説明と施設内見学になります。内容・所要時間等は適宜調整になりますので、事前に発電所までご相談ください。</p> <p>▶大会議室を昼食場所として利用できます。座席数は最大65席ですが、床にシートを敷いて座る場合は最大80人程度まで対応可能です。</p> <p>▶発電所を見学しない場合でも、学校教育の際は大会議室を利用できます。他の施設を見学した際の昼食場所をお探しの場合にも、ご利用ください。(大会議室利用時は、「蒲生なかの郷愁館」を自由に見学することができます。)</p> <p>▶施設内には、トイレ(男性用・女性用・多目的)が複数設置されています。</p>	

設備等の詳細

発電所入口



燃料受入ホッパー



燃料タンク



燃料搬送用垂直コンベヤ



工業用水・純水タンク



空冷復水器



変圧器・開閉器



タービン発電機



中央監視室



木質ペレット等


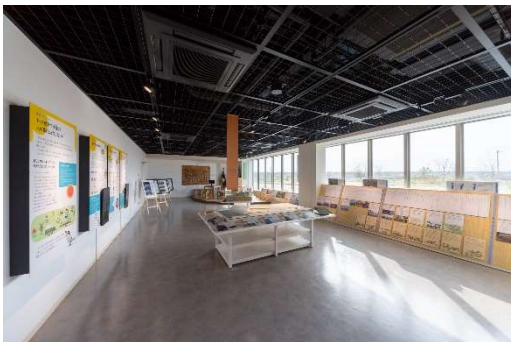


蒲生・中野地区のまちづくりの様子をパネルで学習！

震災との関連も学べます。

総合的な学習の時間におすすめです！

■「蒲生なかの郷愁館」の見学について

見学時間	20分～30分
所在地	仙台市宮城野区蒲生4丁目1番地の1(「杜の都バイオマス発電所」内)
概要	<p>合同会社杜の都バイオマスエナジーが、旧地域住民との協議により発電所内に設置した令和6年3月開館の地域還元施設です。東日本大震災で甚大な被害を受けた蒲生・なかの地区について、事業者・地域・行政など多様な主体が連携・協力し、歴史・自然・生活・学校・震災・復興等の視点に基づく常設展示や企画展示により情報を発信します。</p> <p>主な常設展示として、蒲生・なかの地区と中野小学校の歴史を通して社会の移り変わりを学べる年表コンテンツ、震災前後の同地区や蒲生干潟等を紹介する蒲生なかの紹介マップ、震災関連の写真、持続可能なエネルギーを考える展示などがあります。</p>
学習指導要領の関連項目	<p>▶総合的な学習の時間など 【キーワード例】「防災」「まちづくり」「地域の歴史」「環境」「エネルギー」「SDGs」</p> <p>▶社会科</p> <p>第3学年 ・(4)ア(ア)市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたこと。</p> <p>第4学年 ・(3)ア(ア)地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていること。</p> <p>第5学年 ・(3)ア(ウ)貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割をはたしていること。 ・(4)ア(ア)自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し、国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていること。</p> <p>第6学年 ・(1)ア(イ)国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。</p> <p>▶理科</p> <p>第6学年 ・A物質とエネルギー (1)燃焼の仕組み (4)電気の利用</p>
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>蒲生なかの郷愁館入口</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>蒲生なかの郷愁館展示室</p>  </div> </div>
予約	見学にあたり、予約が必要です。(月曜日及び祝日の翌日は休館日になりますが、休館日に校外学習を希望される場合には、個別にご相談ください。)

駐車場	事前に調整のうえ、敷地内に大型バス2台が駐車可能です。なお、一般見学者用の駐車場は無いため、個人で見学する際は近隣の駐車場をご利用ください。
-----	--

その他	「杜の都バイオマス発電所」と同じ内容になります。
-----	--------------------------

展示等の詳細 (抜粋)	中野小学校の杉の切り株	中野小学校の杉の切り株 (拡大)
		
	蒲生なかの地区案内マンガ	蒲生なかの地区ジオラマ
		
	蒲生なかの紹介マップ	蒲生なかの紹介マップ (拡大①)
		
蒲生なかの紹介マップ (拡大②)	蒲生なかの紹介マップ (拡大③)	
		
蒲生なかの紹介マップ (拡大④)	蒲生なかの紹介マップ (拡大⑤)	



蒲生なかの地区の移り変わり

蒲生なかの地区の移り変わり（拡大①）



蒲生なかの地区の移り変わり（拡大②）

蒲生なかの地区の移り変わり（拡大③）

**貞山堀の工事の様子**

現代のような機械はなく、すべて手作業の工事でした。当時としては優れた測量器を使っていましたが、砂の地面は崩れやすく、工事にはいろいろな苦労がありました。

**蒲生御蔵と町蒲生（江戸時代）**

水路が作られ、お米や荷物が集まる「蒲生御蔵」ができました。地域はにぎわい「町蒲生」と呼ばれるようになりました。

蒲生干潟について

蒲生干潟について（拡大①）



蒲生干潟について（拡大②）

## 蒲生干潟について

七北田川の河口に広がる蒲生干潟は、特に渡り鳥が数千kmを飛んでやってくる国際空港のようなところ。コアシサシの北限の繁殖地、天然記念物コクガンの南限の越冬地です。国の「鳥獣保護区」に指定されていて、春にはシギやチドリ、冬にはガンやカモなどもやってきます。砂地に花を咲かせる植物が広がる風景も見ることが出来ます。

東日本大震災の大津波で大きな被害がありましたが、調査の結果、およそ7年でほとんど元の生態系に戻っていることがわかりました。



## 中野小学校コーナー



## 日和山ジオラマ



## エネルギーコーナー



## エネルギーコーナー（拡大①）



## エネルギーコーナー（拡大②）

**暮らしを支える施設**

何のためのもの？  
暮らしを支える施設

たくさん人が暮らしている社会の中では、みんなのために「必要なこと」が増えてきます。仙台市青葉区には、その「必要なこと」に応じて暮らしを支えるために作られた施設が集まっています。

<p>▶ 荷物を運ぶまで運ぶ</p> <p><b>仙山運河</b></p> <p>海の中にあり、川のようなものは、船に運ばれしほりる工場の設備です。長瀬川から舟運川の間まで、海に出たに船で運ばれた。昔は船で運ばれた荷物を、今も船で運ばれた荷物を運ぶために使われています。</p>	<p>▶ 大きな船で世界とつながる</p> <p><b>仙台港</b></p> <p>東北地方の発展のために、たくさん荷物を運ぶ大きな船が入る港として作られたのが仙台港です。港をめぐって色々な仕事が行われてきました。船で運ばれた荷物を、今も船で運ばれた荷物を運ぶために使われています。</p>
<p>▶ 使った水をキレイにして海に返す</p> <p><b>南瀬川浄化センター</b></p> <p>暮らしの中は毎日たくさんのお水が使われています。しかし、使ったお水をそのまま海に流してはいけません。使ったお水をキレイにして海に返すために、南瀬川浄化センターがあります。使ったお水をキレイにして海に返すために、南瀬川浄化センターがあります。</p>	<p>▶ 地球にやさしく電気を作る</p> <p><b>社のバイオマス発電所</b></p> <p>電気に代わらない電気が、電気を作るために使われています。地球にやさしく電気を作るために、バイオマス発電所があります。使ったお水をキレイにして海に返すために、南瀬川浄化センターがあります。</p>

## エネルギーコーナー（拡大③）

**電気の仕組み**

電気はどうやって作るの？

電気の作り方には様々な方法があります。エネルギーを電気に変える「効率」や、まわりの環境に与える影響など、いろいろな違いがあり、これらを組み合わせて必要な量の電気を作ります。代表的な発電の特徴を見てみましょう。

	メリット	デメリット
<b>火力発電【化石燃料】</b>	発電量が多い、発電コストが安い	CO2の排出量が非常に多い、環境への影響が大きい
<b>火力発電【バイオマス】</b>	CO2の排出量が非常に少ない	発電コストが高い、発電量が少ない
<b>水力発電</b>	発電量が多い、発電コストが安い	発電コストが高い、発電量が少ない
<b>原子力発電</b>	発電量が多い、発電コストが安い	放射性廃棄物の処理が難しい
<b>太陽光発電</b>	CO2の排出量が非常に少ない	発電コストが高い、発電量が少ない
<b>風力発電</b>	CO2の排出量が非常に少ない	発電コストが高い、発電量が少ない

どうして作り方をひとつにしないの？

エネルギーを電気に変える「効率」や、まわりの環境に与える影響など、いろいろな違いがあり、これらを組み合わせて必要な量の電気を作ります。代表的な発電の特徴を見てみましょう。

**パワースタが**  
大活躍の場

発電量 9.2%  
火力 (バイオマス) 3.2%  
水力 2.0%  
太陽光 10.0%  
風力 2.2%  
原子力 (化石燃料) 72.7%



## ■地域モニュメント「なかの伝承の丘」の見学について

見学時間	10分
所在地	仙台市宮城野区蒲生5丁目30番
概要	震災で犠牲となった方々の追悼・鎮魂、津波被害で集団移転となった蒲生・なかの地区の歴史を後世に伝える地域モニュメントで、中野小学校跡地に平成28年に整備されました。同年3月に閉校した中野小学校の閉校記念碑などが建立されています。
学習指導要領の関連項目	<p>▶社会科</p> <p>第4学年 ・ (3)ア(ア)地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていること。</p>
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>なかの伝承の丘全景</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>なかの伝承の丘慰霊碑・慰霊塔</p>  </div> </div>
予約	—
駐車場	校外学習時は、事前に調整のうえ、東側の隣接区画に立地する「杜の都バイオマス発電所」の敷地内に大型バス2台が駐車可能です。（「なかの伝承の丘」の駐車場には、大型バス2台分の駐車区画がありますが、駐車可否については、当日の他の車両の駐車状況次第になります。）
その他	<p>▶同一敷地内の東側には、震災以前の蒲生・なかの地区にあった4町内を模したレリーフが設置されています。</p> <p>▶東側の隣接区画に立地する「杜の都バイオマス発電所」内のトイレが利用可能ですので、バスの駐車と併せて事前にご相談ください。（なお、令和6年7月頃には、「なかの伝承の丘」の同一敷地内にトイレが完成します。</p> <p>▶令和6年度中に同一敷地内の整備が行われ、公園として完成する予定です。</p>

## ■「蒲生干潟」・「日和山」の見学について

見学時間	20分～30分	
所在地	仙台市宮城野区蒲生字町87	
概要	<p>蒲生干潟は国内有数の干潟であり、多くのシギ・チドリ類の他、砂浜植物群落や塩生植物群落が集まる貴重な地域です。震災の津波で自然環境に大きな影響を受けましたが、少しずつ回復に向かっています。また、隣接する「日和山」は日本一低い山(標高3m)として認定されており、多くの方が訪れています。</p>	
学習指導要領の関連項目	<p>▶理科            第5学年 ・B生命・地球(3) 流れる水の働きと土地の変化            第6学年 ・B生命・地球(3) 生物と環境(4) 土地のつくりと変化</p>	
写真	蒲生干潟遠景	蒲生干潟近景
		
	日和山	蒲生日和山駐車場トイレ
		
予約	—	
駐車場	<p>バス用の駐車場はないため、「杜の都バイオマス発電所」の敷地内への駐車について、事前にご相談ください。(堤防に隣接する蒲生日和山駐車場は、普通車両用の区画のみになります。)</p>	
その他	<p>「杜の都バイオマス発電所」から「蒲生干潟」までは、徒歩で10分～15分程度になります。また、蒲生日和山駐車場には、令和5年4月に設置されたトイレ(男性用・女性用・多目的)があります。</p>	

次のコースは、校外学習の主な対象施設（ビール工場・清掃工場）と、今回ご紹介している対象スポットを基に当区が校外学習コースとしてご提案するものの一例であり、いずれについても2クラスによる訪問を想定したものになります。なお、杜の都バイオマス発電所の見学は、発電所側の状況により所要時間等が変わる場合があるため、事前に詳細の調整が必要です。

### ■産業学習コース（5年生 社会科・理科）

晴天時 ①【見学】キリンビール→ ②【昼食】NX 仙台港パーク→ ③【見学】杜の都バイオマス発電所・なかの伝承の丘・蒲生なかの郷愁館

時間	項目		備考
9:55	キリンビール仙台工場着		
10:00～ 11:30	【見学】キリンビール仙台工場		トイレ休憩含む
11:35	キリンビール仙台工場発		
11:40	NX 仙台港パーク着		
11:45～ 12:30	【昼食】公園内		トイレ休憩含む
12:35	NX 仙台港パーク発		
12:45	杜の都バイオマス発電所着		
13:00～ 13:20	【見学】杜の都バイオマス発電所	【見学】なかの伝承の丘	伝承の丘移動時間往復 10分含む
13:20～ 13:45		【見学】蒲生なかの郷愁館	トイレ休憩含む
13:45～ 14:05	【見学】なかの伝承の丘	【見学】杜の都バイオマス発電所	伝承の丘移動時間往復 10分含む
14:05～ 14:30	【見学】蒲生なかの郷愁館		トイレ休憩含む
14:45	杜の都バイオマス発電所発		

※「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては、余裕をもって展示を見学できるようにするため、1クラスずつ見学する形式にしています。

※例えば、午後の時間帯について2クラス同時に「杜の都バイオマス発電所」のみ見学することや、所要時間を45分から60分に変更し、パワーポイントによる説明の時間を30分程度設ける等も可能です。

※「キリンビール仙台工場」の見学にあたっては申込が必要になります。「キリンビール仙台工場」（電話：022-254-2992）にお問い合わせください。

※「NX 仙台港パーク」の利用にあたっては申込が必要になります。「NX 仙台港パーク管理事務所」（電話：022-253-7727）にお問い合わせください。なお、申込先着順になりますが、大型バスについては4台分の駐車スペースがあります。

※「杜の都バイオマス発電所」・「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては申込が必要になります。

**荒天時** ①【見学】キリンビール→ ②【昼食】杜の都バイオマス発電所大会議室→ ③杜の都バイオマス発電所・蒲生なかの郷愁館

時間	項目	備考
9:55	キリンビール仙台工場着	
10:00～ 11:30	【見学】キリンビール仙台工場	トイレ休憩含む
11:35	キリンビール仙台工場発	
11:45	杜の都バイオマス発電所着	
12:00～ 12:45	【昼食】発電所大会議室	トイレ休憩含む
12:45～ 13:15	【説明】パワーポイントによるバイオマス発電所の紹介	【見学】蒲生なかの郷愁館
13:15～ 13:45	【見学】蒲生なかの郷愁館	【説明】パワーポイントによるバイオマス発電所の紹介
13:45～ 14:30	【見学】杜の都バイオマス発電所	トイレ休憩含む
14:45	杜の都バイオマス発電所発	

※「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては、余裕をもって展示を見学できるようにするため、1クラスずつ見学する形式にしています。

※「キリンビール仙台工場」の見学にあたっては申込が必要になります。「キリンビール仙台工場」（電話：022-254-2992）にお問い合わせください。

※「杜の都バイオマス発電所」・「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては申込が必要になります。

■環境学習コース（４年生 社会科・理科）

晴天時 ①【見学】仙台市松森工場→ ②【昼食】NX 仙台港パーク→ ③【見学】蒲生なかの郷愁館  
→ ④【見学】蒲生干潟・日和山

時間	項目	備考
9:30	仙台市松森工場着	
9:35～ 11:05	【見学】仙台市松森工場着	トイレ休憩含む
11:10	仙台市松森工場着発	
11:30	NX 仙台港パーク着	
11:35～ 12:20	【昼食】公園内	トイレ休憩含む
12:25	NX 仙台港パーク発	
12:35	杜の都バイオマス発電所着	
12:35～ 12:50	【移動】杜の都バイオマス発電所から蒲生干潟に徒歩で移動	
12:50～ 13:35	【見学】蒲生干潟・日和山	干潟観察 日和山登山
13:35～ 13:50	【移動】蒲生干潟から杜の都バイオマス発電所に徒歩で移動	
14:05	杜の都バイオマス発電所発	

※「仙台市松森工場」の見学にあたっては申込が必要になります。「仙台市松森工場」（電話：022-373-5399）にお問い合わせください。

※「NX 仙台港パーク」の利用にあたっては申込が必要になります。「NX 仙台港パーク管理事務所」（電話：022-253-7727）にお問い合わせください。なお、申込先着順になりますが、大型バスについては4台分の駐車スペースがあります。

※「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては申込が必要になります。

※「杜の都バイオマス発電所」・「蒲生干潟・日和山」間を徒歩ではなくバスで移動する場合、蒲生日和山駐車場は普通車両用の区画のみであるため、乗降場所等については適宜判断いただく必要があります。

**荒天時** ①【見学】仙台市松森工場→ ②【昼食】杜の都バイオマス発電所大会議室→ ③【見学】蒲生なかの郷愁館

時間	項目	備考
9:30	仙台市松森工場着	
9:35～ 11:05	【見学】仙台市松森工場着	トイレ休憩含む
11:10	仙台市松森工場着発	
11:30	杜の都バイオマス発電所着	
11:45～ 12:30	【昼食】発電所大会議室	
12:30～ 13:10	【視聴】発電所大会議室で DVD 視聴	【見学】蒲生なかの郷愁館 トイレ休憩含む
13:10～ 13:50	【見学】蒲生なかの郷愁館	【視聴】発電所大会議室で DVD 視聴 トイレ休憩含む
14:05	杜の都バイオマス発電所発	

※「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては、余裕をもって展示を見学できるようにするため、1クラスずつ見学する形式にしています。また、荒天を考慮して、「蒲生なかの郷愁館」の見学時間を長く設定しています。

※荒天時で「蒲生干潟」等を見学できない場合の代替案として、DVD「海辺の復興の歩み」、「仙台市東部沿岸部のいま 2021 年夏」、「仙台市東部沿岸部のいま 2023 年秋」の視聴を提案しています。「海辺の復興の歩み」等は、仙台市で作成したものであり、YouTube「せんだい Tube」で視聴可能ですが、必要に応じて DVD の貸し出しを行っています。

※「仙台市松森工場」の見学にあたっては申込が必要になります。「仙台市松森工場」（電話：022-373-5399）にお問い合わせください。

※「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては申込が必要になります。

■海辺の学習コース（6年生 社会科・理科・総合的な学習の時間）

晴天時 ①【見学】杜の都バイオマス発電所・なかの伝承の丘・蒲生なかの郷愁館→ ②【昼食】NX 仙台港パーク→ ③【見学】蒲生干潟・日和山

時間	項目		備考
9:40	杜の都バイオマス発電所着		
9:50～ 10:20	【説明】杜の都バイオマス発電所のスライドによる紹介		
10:20～ 11:05	【見学】杜の都バイオマス発電所		トイレ休憩含む
11:05～ 11:30	【見学】なかの伝承の丘	【見学】蒲生なかの郷愁館	伝承の丘移動時間往復10分含む
11:30～ 11:55	【見学】蒲生なかの郷愁館	【見学】なかの伝承の丘	伝承の丘移動時間往復10分含む
12:00	蒲生なかの郷愁館発		
12:10	NX 仙台港パーク着		
12:15～ 13:00	【昼食】公園内		トイレ休憩含む
13:05	NX 仙台港パーク発		
13:15	杜の都バイオマス発電所着		
13:15～ 13:30	【移動】杜の都バイオマス発電所から蒲生干潟に徒歩で移動		
13:30～ 14:15	【見学】蒲生干潟・日和山		干潟観察 日和山登山
14:15～ 14:30	【移動】蒲生干潟から杜の都バイオマス発電所に徒歩で移動		
14:45	杜の都バイオマス発電所発		

※「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては、余裕をもって展示を見学できるようにするため、1クラスずつ見学する形式にしています。

※「杜の都バイオマス発電所」・「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては申込が必要になります。

※「NX 仙台港パーク」の利用にあたっては申込が必要になります。「NX 仙台港パーク管理事務所」（電話：022-253-7727）にお問い合わせください。なお、申込先着順になりますが、大型バスについては4台分の駐車スペースがあります。

※「杜の都バイオマス発電所」・「蒲生干潟・日和山」間を徒歩ではなくバスで移動する場合、蒲生日和山駐車場は普通車両用の区画のみであるため、乗降場所等については適宜判断いただく必要があります。

荒天時 ①【見学】杜の都バイオマス発電所→ ②【昼食】杜の都バイオマス発電所大会議室→ ③

【見学】蒲生なかの郷愁館

時間	項目	備考
9:40	杜の都バイオマス発電所着	
9:50～ 10:20	【説明】杜の都バイオマス発電所のスライドによる紹介	
10:20～ 11:05	【見学】杜の都バイオマス発電所	トイレ休憩含む
11:05～ 11:45	【視聴】発電所大会議室で DVD 視聴	【見学】蒲生なかの郷愁館
11:45～ 12:25	【見学】蒲生なかの郷愁館	【視聴】発電所大会議室で DVD 視聴
12:25～ 13:10	【昼食】発電所大会議室	トイレ休憩含む
13:25	杜の都バイオマス発電所発	

※荒天時で「蒲生干潟」等を見学できない場合の代替案として、DVD「海辺の復興の歩み」、「仙台市東部沿岸部のいま 2021 年夏」、「仙台市東部沿岸部のいま 2023 年秋」の視聴を提案しています。「海辺の復興の歩み」等は、仙台市で作成したものであり、YouTube「せんだい Tube」で視聴可能ですが、必要に応じて DVD の貸し出しを行っています。

※「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては、余裕をもって展示を見学できるようにするため、1クラスずつ見学する形式にしています。また、荒天を考慮して、「蒲生なかの郷愁館」の見学時間を長く設定しています。

※「杜の都バイオマス発電所」・「蒲生なかの郷愁館」の見学にあたっては申込が必要になります。





番号	施設等名称	区分	所在地	昼食に利用可能な場所	①からの距離
①	杜の都バイオマス発電所	見学/昼食	仙台市宮城野区蒲生4丁目1番地の1	会議室(無料・イス無の場合で80人程度)	—
②	蒲生なかの郷愁館	見学	仙台市宮城野区蒲生4丁目1番地の1	—	①施設内
③	なかの伝承の丘	見学	仙台市宮城野区蒲生5丁目30番	—	約250m
④	蒲生干潟・日和山	見学	仙台市宮城野区蒲生字町87	—	約800m

※①・②の施設見学に係る問い合わせ先は、杜の都バイオマス発電所になります。

項目	小学校学習指導要領の関連項目		
杜の都バイオマス発電所	理科	第6学年	A 物質とエネルギー (1) 燃焼の仕組み (4) 電気の利用
蒲生なかの郷愁館	総合的な学習の時間など		【キーワード例】「防災」「まちづくり」「地域の歴史」「環境」「エネルギー」「SDGs」
	社会科	第3学年	(4) ア(ア)市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたこと。
		第4学年	(3) ア(ア)地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていること。
		第5学年	(3) ア(ウ)貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割をはたしていること。 (4) ア(ア)自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し、国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていること。
	第6学年	(1) ア(イ)国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。	
なかの伝承の丘	社会科	第4学年	(3) ア(ア)地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えしていること。
蒲生干潟・日和山	理科	第5学年	B 生命・地球 (3) 流れる水の働きと土地の変化
		第6学年	B 生命・地球 (3) 生物と環境 (4) 土地のつくりと変化